

# 京林大だより

No.85



絵：京林大生 熊走君

森林林業科の入学式を令和8年4月10日（金）に挙行了しました。当日は雨が降ったりやんだりとスッキリしない天候でしたが、多くの御来賓や保護者の皆様にお越しいただき、盛大に開催することができました。

第15期生となる今年は、京都府内から8名、他県から2名、計10名の新入生（うち女性2名）を迎えました。

大下校長から、「自然を尊敬できる人間を育てたい」という本校の教育理念と共に、「自分を大切にする」、「安全第一」という2つのお願いが新入生に伝えられました。

続いて、新入生代表が、「恵まれた素晴らしい環境の中で多くのことを吸収し、それぞれの目標に向けて成長していきたい。」と力強く宣誓しました。

これから2年間、地域の方々や林業関係者の皆様にお世話になりながら、森林・林業の知識と確かな技術、そして、人間力をしっかりと身に付け、頼もしい林業の担い手として成長してくれることを期待しています。



## 京林大恒例行事！ 日本海ウォーキング



4月23日（木）～24日（金）、1・2年生合同で、福知山市雲原から大江山連峰を経て宮津・天橋立まで約45kmの道のりを踏破する「日本海ウォーキング」を実施しました。

初日はあいにくの雨で全身ずぶ濡れにならながらも、千丈ヶ嶽（833m）を始めとする山々を越えて「かや山の家」へ。

2日目は一転してさわやかな晴天に恵まれ、疲れて痛む脚もなんのその、メンバー同士で交流を深めながら天橋立を目指しました。

今年は、かなりのハイペースで全員が余裕を持ってゴールし、2年生はこの1年間の成長ぶりを実感でき、1年生もこれから本格的に始まる実習に向けて頼もしいスタートを切ることができた2日間となりました。

## 今月の授業参観

### 「林大入門」 タカタラビを歩く

4月13日（月）1年生最初の授業を林大の南側のタカタラビ林道沿線で行いました。

林業用語の基本中の基本となる、尾根、谷、斜面、林道、人工林、天然生林、適地適木、植林、間伐、森林所有者などの用語を、現地を巡りながら、実物を目の前に解説しました。

尾根から谷へ林道を下りながら、水が集まり、溪流になる様子を見つつ、谷を渡る場所では、実際に導水管を塞ぐ流木や枝葉を全員で取り除きました。



【現地ライブ  
林道溪流を渡る】

### 「木材コーディネーター2」

4月28日（火）2年生が、木材流通と利用について理解を深めるため、JAS製材工場(坂矢木材(株))及びプレカット工場(京北プレカット(株))を見学しました。

本校の客員教授である(有)ウッズの能口氏の解説のもと、木材の品質を証明するJAS認証制度の現状や近年の技術革新(プレカット)による、木材・建築に係る産業構造の変化を学びました。

素材生産者が山主に利益を還元するためには、山にある木の価値を正確に把握し、価値を最大化して流通させる必要があります。流通先でどのような木材が求められるのか、近年の流通事情の一端を知るよい機会となりました。



乾燥材の需要の高まりについて解説を受ける



## 校長室より

校長 大下 起代

京都府立林業大学校で三度目の春を迎えました。美しく連なる山々と澄んだ水と空気に恵まれた和知の地で、温かな地域の皆様、そして頼もしい教職員とともに、引き続き林業の担い手育成に携われることを、心より嬉しく、また誇りに感じております。決意を新たに身を引き締め、与えられた任務を着実に果たしてまいります。

さて、4月末の恒例行事である日本海ウォークでは、福知山市雲原を起点に大江山を縦走し、天橋立までの約45kmを二日間で歩きました。初日は雨が降り続く厳しい天候となりましたが、学生たちは悪条件をものともせず、ぬかるむ足元に十分注意しながら、驚くほどのペースで歩き、無事に宿泊地へ到着しました。二日目は天候も回復し、さらに歩行速度を上げ、余裕をもって天橋立へと到着することができました。

私自身は、膝の痛みやハイペース、加えて年齢と戦いながら、「この行程を歩き切ることができれば、今年一年、学生と教職員全員が元気に過ごせる」と願をかけ、何とか完歩することができました。一番、鍛えられたのは、私かも知れません。何よりも、悪天候や疲労と向き合いながら最後まで歩き切った学生たちの成長と運営面での先生方の変わらぬ力強く献身的なサポートを実感できたことは、大きな喜びでした。特に1年生にとっては、これから始まる学校生活や慣れない授業に向け、大きな自信につながったことと思います。

近年、気候変動や国際情勢の影響により、環境や社会、経済を取り巻く状況は厳しさを増し、その持続性への危機感が高まっています。このような中、森林の循環利用の推進や林業人材育成の重要性は、ますます高まっています。教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいりますので、関係各位ならびに地域の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。